

# 渡邊 一正

## Kazumasa Watanabe



1991 年東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。2015 年 4 月から東京フィルのレジデント・コンダクターおよび指揮者を 2021 年 5 月まで務める。また 1995 年～2002 年には広島交響楽団正指揮者も歴任。これまでN響の定期演奏会を始め、日本国内の主要プロ・オーケストラへ定期的に客演しその音楽性と指揮に対する信任を得ている。オペラでは新国立劇場でマスカーニ歌劇「友人フリッツ」、バレエでも同劇場バレエ団「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮し、2006 年「白鳥の湖」新演出の指揮でも大成功を収めた。またサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、海外でも活躍している。

ピアニストとしても 8 歳の時に東京響、東京フィルと協演。87 年～ 89 年まで渡欧しハンス・ライグラフ教授に師事。その後、東京フィル定期、広島響定期などで弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も高く評価されている。